

北海道浮魚ニュース

平成10（1998）年度17号（通巻 NO. 38）

1998年9月17日

| | | |
|-------------|--------------------|--------------------|
| 北海道立中央水産試験場 | Tel : 0135-23-8707 | Fax : 0135-23-8709 |
| 釧路水産試験場 | Tel : 0154-23-6221 | Fax : 0154-23-6225 |
| 函館水産試験場 | Tel : 0138-57-5998 | Fax : 0138-57-5991 |
| 稚内水産試験場 | Tel : 0162-23-2126 | Fax : 0162-23-2134 |
| 網走水産試験場 | Tel : 0152-43-4591 | Fax : 0152-43-4593 |

◎平成10年度オホーツク海サンマ漁況予報

9月14日に北海道区水産研究所を中心に釧路、網走、稚内水産試験場が共同で平成10年度のオホーツク海サンマ漁況予報を作成し、発表しましたので、お知らせします。

【漁況予測】

- ①来遊資源量は昨年と同程度の低水準であろう。
- ②魚体組成は、中・小型魚主体となろう。

この予報は以下の情報を総合して、作成しました。

・今年の海況について

択捉島沖南東40マイル付近における表面水温は、7月中は8℃台後半、8月以降は10℃以上で経過し、現在に至っています。また8月上旬の択捉島沖における10℃の等温線は距岸12マイル付近に位置しており、表層水の高温傾向が南部千島列島のごく沿岸まで達していました。

・今年の来遊状況について

例年、オホーツク海で漁獲の対象となる魚群は中・小型魚で、この群は南部千島太平洋側水域へ接岸したものの一部が、オホーツク海へ移動・回遊するものと推定されています。

太平洋での漁獲物組成からみると、南部千島沖に北上した中・小型魚（ジャミを含む）の来遊量は昨年よりも少ないと推測されました。

しかし、オホーツク海の漁況と密接な関係にある南部千島沖の海況が高温で推移したことから、サンマの移入条件としては好適と考えられました。

・オホーツク海の魚群分布調査（浮魚ニュース平成10年度15号参照）

9月上旬に実施したオホーツク海サンマ漁期前調査の結果、沖合域および知床岬沖でサンマの分布が確認されましたが、沿岸域ではほとんど発見されませんで

した。また沖合域で確認された魚群についても、ほとんどが数尾～数十尾程度の規模に留まり、知床岬沖で250尾程度のまとまった漁獲があった以外は、漁獲の対象となるような魚群は見られませんでした。

目視あるいは漁獲により確認されたサンマの体長組成は、時折30cm前後の個体が目視されたものの、多くは10-25cm程度の小型魚・ジャミ主体でした。

オホーツク海のサンマ漁獲量（網走・稚内・釧路水試調べ）

| 年 | 漁獲量 | 1隻1晩当り 漁獲量 | 年 | 漁獲量 | 1隻1晩当り 漁獲量 |
|-----|--------|---------------|-----|---------|---------------|
| 昭63 | 45t | 0.6t | 平成5 | 92t | 1.5t |
| 平成1 | 183t | 4.1t | 6 | 227t | 7.2t |
| 2 | 2,400t | 6.0t | 7 | 203t | 2.5t |
| 3 | 0t | - | 8 | 10,294t | 23.5t |
| 4 | 873t | 9.3t | 9 | 4,260t | 11.8t |

1隻1晩当り漁獲量は棒受網漁業における数値

※なお、9月下旬～10月上旬にかけて、オホーツク海において再度、調査船による調査を実施する予定です。

（文責：釧路水試資源管理部）

※釧路水試 資源管理部に直通電話が付きました！
電話番号は 0154-23-6222 です。